

各学校長 様

岩手県高等学校文化連盟放送専門部
専門部長 柴 田 護
(岩手県立宮古北高等学校長)

第49回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼第44回岩手県高等学校放送新人大会の
開催について(ご案内)

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より本専門部の活動に御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、標記につきまして、下記のとおり開催することとしております。

つきましては、貴校の放送に関する部活動及び委員会等の大会参加につきまして、御高配を賜ります
ようお願い申し上げます。

記

1 日時

令和8年11月3日(火) 13:30～17:00

令和8年11月4日(水) 9:00～17:00

エントリー状況によっては11/4(水)の一日開催とすることがあります。詳細は、後日参加校に送付
する実施要項で御確認願います。

2 会場

トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館) 中ホール他

〒020-0023盛岡市内丸13-1 電話019-624-1171 <https://www.iwate-kenmin.jp>

3 要項等

別紙のとおり。エントリー締切は10月13日(火)正午。

参加申込書、制作・審査規程、各種様式等は、放送専門部のウェブサイトからダウンロードしてく
ださい。 <https://www2.iwate-ed.jp/housou/>

4 その他

東日本大震災の被災地・被災者の参加料は無料とします。

被災地・被災者の判断は、各校の校長に一任します。

【担当】大会事務局

岩手県高文連放送専門部事務局

岩手県立盛岡工業高等学校 坂本 千尋

ptf2-chihiro-sakamoto@iwate-ed.jp

<https://www2.iwate-ed.jp/housou/>

**第49回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第44回岩手県高等学校放送新人大会 開催要項**
(9/24東北理事会の後、要項・規程が確定します)

1. 目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して、校内放送をとおり番組の制作技術の向上、表現力、創造性の開発および、豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。大会は、岩手県高等学校総合文化祭の一環、ならびに東北高等学校放送コンテストおよび全国高等学校総合文化祭放送部門の予選として実施する。

2. 主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3. 共催

株式会社IBC岩手放送・株式会社テレビ岩手

4. 主管

岩手県高等学校総合文化祭実行委員会・岩手県高等学校文化連盟放送専門部

5. 後援

岩手県高等学校長協会・岩手県高等学校教育研究会・盛岡市教育委員会・報道各社

6. 日時

2026(令和8)年11月3日(火) 13:30～17:00

2026(令和8)年11月4日(水) 9:00～17:00

エントリー状況によっては11/4の一日開催とすることがある。詳細は後日参加校に送付する実施要項による。

7. 会場

トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)

〒020-0023 盛岡市内丸13-1 電話 019-624-1171

<https://www.iwate-kenmin.jp/>

8. 開催部門とエントリー数

- (1)アナウンス部門 今年度はエントリー数制限無し
- (2)朗読部門 今年度はエントリー数制限無し
- (3)オーディオメッセージ部門 各校2本以内
- (4)ビデオメッセージ部門 各校2本以内
- (5)ラジオキャンペーン部門 各校2本以内
- (6)テレビキャンペーン部門 各校2本以内

9. 審査員

専門職審査員および教育職審査員による。

10. 表彰と上位大会推薦

いずれの部門も、エントリー数によって表彰数を変更することがある。

(1)アナウンス部門・(2)朗読部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)…

全国総文祭・東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)…

全国総文祭・東北大会推薦

優良賞 3 賞状…東北大会推薦

入選 6 賞状…東北大会推薦

(3)オーディオメッセージ部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)…全国総文祭推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)

(4)ビデオメッセージ部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優良賞 2 賞状

全国総文祭推薦は、オーディオメッセージの代表以外の上位2校とする

(5)ラジオキャンペーン部門・(6)テレビキャンペーン部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)…東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)…東北大会推薦

優良賞 3 賞状…東北大会推薦

11. 各種規程

制作・審査規程、各種様式等は別に定める。これらは放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。

12. エントリー手続き・提出物

別表の一覧のとおり。エントリー後の変更は認めない。

13. その他

- (1)感染症の流行状況などによっては、すべての部門で録音審査にする場合がある。
- (2)この大会のために集められた個人情報(所属学校名、氏名、学年、性別、入賞者の成績)については、大会の実施、主催者に関連する記録物(印刷媒体、ウェブサイト、放送等)、大会成績の報道機関への提供以外には使用しない。

(3) 使用著作物については、著作権隣接権を含め、権利者の許諾を得るとともに、制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(4) 応募された番組などは、放送等で公開されることがある。制作にあたっては、番組に登場する著作物の著作者や出演者、協力していただいた方々などから、ネット上での限定公開も含めた承諾を得ておくこと。

別表 手続一覧

	内容・方法	締切
エントリー 手続き	参加申込書…メールで事務局に送付する。様式は放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。 https://www2.iwate-ed.jp/housou/ 送付先: housou.iwate@gmail.com (大会専用)	10月13日(火) 正午必着
	参加料…各部門とも1エントリーにつき、1,500円。次の口座に学校名で振込むこと。 岩手(いわて)銀行 上田(うへだ)支店 普通 2023372 岩手県高等学校文化連盟放送専門部 専門部長 柴田 護(しばた まもる) 振込手数料は各校負担、参加料の領収書は銀行発行のものとする。 なお、東日本大震災の被災地・被災者の参加料は無料とする。被災地・被災者の判断は、各校の校長に一任する。	
提出物	アナウンス部門・朗読部門の原稿各3部…10月30日(金)正午に指定場所必着 番組部門の番組進行表各1部、番組を収録したmp3/mp4データ…10月30日(金)正午に指定場所必着。いずれも送付費用は各校負担。 送付先(指定場所・提出方法)は後日発表される実施要項による。 様式は放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。 エントリー番号、データのファイル名などは、後日発表される実施要項によること。 https://www2.iwate-ed.jp/housou/	10月30日(金) 正午指定場所必着

上位大会等は次のとおり。以下に参加できない場合は新入大会にエントリーしないこと。

- ・第51回全国高等学校総合文化祭放送部門 2027(令和9)年8月4日(水)～5日(木) 石川県白山市
- ・第30回東北高等学校放送コンテスト 2027(令和9)年2月6日(土)～7日(日) 福島県福島市
- ・アナウンス朗読講習会 2026(令和8)年12月19日(土) 県民会館 アナ朗の東北大会進出者対象
- ・番組講習会 2026(令和8)年11月21日(土) 県民会館 番組の東北大会進出校対象

※ 理事ならびに引率顧問の皆様には、運営と審査を分担していただきます。

運営・審査をお願いする皆様には、業務に当たる日の昼食を準備いたします。

実施要項(エントリー番号、係分担、日程の詳細等)は、エントリー確定後、連絡いたします。

第44回岩手県高等学校放送新人大会 制作・審査規程

(9/24東北理事会の後、要項・規程が確定します)

1. アナウンス部門

- (1) 内容 次のア、イのいずれかの規定による。いずれも自作の原稿とする。
ア 次年度のNHK杯全国高校放送コンテストの規定(自校の校内放送に使用するもの)
イ 次年度の全国高等学校総合文化祭の規定(郷土または校内の話題を全国の高校生に伝える内容)。
- (2) 規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)と氏名(学校名を読まない)を読むこととし、それらを含め、1分10秒以上1分30秒以内。
- (3) 原稿様式 次のア・イにより作成する。
ア 様式1による。
イ 原稿の大きさはA4横を二つ折り・袋とじし、仕上りA5縦判・右2カ所留めで、3部作成する。
- (4) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。
ア 内容
 - (a) 素材の選び方は適当であるか
 - (b) 文章表現は適当であるか
イ アナウンスの技術
 - (a) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか
・発声・発音・マイクの使い方
 - (b) 正しく伝える抑揚表現ができているか
・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント
 - (c) 間(ポーズ)は適切か
・テンポ・ポーズ
- (5) 予選
ア 出場者は、概ね30名ずつの会場に分かれて、エントリー番号順に発表を行う。
イ 各会場から上位同数、計12名を決勝に推薦する。

2. 朗読部門

- (1) 内容 次のア、イのいずれかの規定による。いずれの場合も作品の改変は認めない。抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。
ア 次年度のNHK杯全国高校放送コンテストの指定作品、またはその作家の作品。
イ 次年度の全国高等学校総合文化祭放送部門の規定：それぞれの郷土にゆかりのある作家または作品。
- (2) 規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)、氏名(学校名を読まない)、著者名(訳者名は読まない)、書名(短編集は短編名)を読むこととし、それらを含め、1分30秒以上2分00秒以内(全国総文祭では本文のみで1分45秒以内)。
- (3) 原稿様式 次のア・イにより作成する。
ア 様式1による。
イ 原稿の大きさはA4横を二つ折り・袋とじし、仕上りA5縦判・右2カ所留めで、3部作成する。
- (4) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。
ア 内容
 - (a) 作品の選定は適当であるか
 - (b) 朗読として適切な部分を抽出しているか
イ 朗読の技術
 - (a) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か
・発声・発音・マイクの使い方
 - (b) 正しく伝える抑揚表現ができているか
・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント
 - (c) 間(ポーズ)は適切か
・テンポ・ポーズ
- (5) 予選
ア 出場者は、概ね30名ずつの会場に分かれて、エントリー番号順に発表を行う。
イ 各会場から上位同数、計12名を決勝に推薦する。

3. オーディオメッセージ部門

(1) 内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。ドキュメンタリー、ドラマ等の手法は問わない。CDによるステレオ音声で構成された作品とする。

(2) 規定時間 4分以内

(3) 制作様式 次のア～エにより制作する。

ア ファイル形式はmp3(ステレオ, 128kbps以下), ファイル名は, am01. mp3(エントリー番号. mp3)のようにする。エントリー番号はエントリー確定後に実施要項で連絡する。

イ 音声の再生は, ステレオで行う。

ウ 本編の最後に「制作は〇〇高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。クレジットコールにはBGMや効果音をつけない。

エ 計時は音声の初めから, クレジットコールの終了までとする。

(4) 番組進行表様式 次のア～エにより作成する。

ア タイトルの文字は, JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ 表紙は様式2-1, 2ページ以降は様式2-2による「CUEシート」, 様式2-3「使用著作物一覧」, 様式2-4「音源使用許諾書」, 様式2-5「取材許諾・著作物等ご提供のお願い」とする。他の著作物を使用していない場合はいずれも「なし」と記載する。

ウ 他の著作物を使用した場合は, JASRAC等の明細書, 著作権フリー音源であることを示すレーベル等のコピー, その他使用したすべての著作物について使用許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

エ 番組進行表の大きさはA4縦判・左上1カ所留めで, 1部作成する。

(5) 審査の視点 次のア, イに留意して, 総合的に採点する。

ア テーマ

- ・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a) 制作の手法
- (b) 取材の方法や努力
- (c) 企画構成
- (d) 演出・編集
- (e) 技術
 - ・録音の技術
 - ・アナウンスやナレーションの技術
 - ・音楽や効果音の使い方など

4. ビデオメッセージ部門

(1) 内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。

(2) 規定時間 4分30秒以内

(3) 制作様式 次のア～エにより制作する。

ア ファイル形式はmp4(1080i または1080p のフルHD以下, 29.97fps または30fps HD・1080), ファイル名はvm01. mp4(エントリー番号. mp4)のようにする。エントリー番号はエントリー確定後に実施要項で連絡する。

イ 音声の再生は, ステレオで行う。

ウ 本編の前後に5秒間ずつ, 様式3のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

エ 計時は初めのテストパターンの終了時から, 終わりのテストパターンの最初までとする。

(4) 番組進行表様式 次のア～エにより作成する。

ア タイトルの文字は, JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ 表紙は様式2-1, 2ページ以降は様式2-2による「CUEシート」, 様式2-3「使用著作物一覧」, 様式2-4「音源使用許諾書」, 様式2-5「取材許諾・著作物等ご提供のお願い」とする。他の著作物を使用していない場合はいずれも「なし」と記載する。

ウ 他の著作物を使用した場合は, JASRAC等の明細書, 著作権フリー音源であることを示すレーベル等のコピー, その他使用したすべての著作物について使用許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

エ 番組進行表の大きさはA4縦判・左上1カ所留めで, 1部作成する。

(5) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

- ・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a) 制作の手法

(b) 取材の方法や努力

(c) 企画構成

(d) 演出・編集

(e) 技術

- ・撮影・録音の技術
- ・アナウンスやナレーションの技術
- ・音楽や効果音の使い方など

5. ラジオキャンペーン部門

(1) 内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認めない。

エ 放送番組として不適切な内容を含まないこと。

(2) キーワード 「ふく」

(3) 規定時間 30秒以上1分以内

(4) 制作様式 次のア～カにより制作する。提出後の内容の変更は認めない。

ア ファイル形式はmp3(ステレオ, 128kbps以下), ファイル名は, rc01. mp3(エントリー番号. mp3)のようにする。

イ 再生は、原則としてステレオ(L/R)で行う。

ウ 最初に「部門名」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち、3秒後に本編を開始する。

エ 本編の最後の音から3秒後に「制作は〇〇高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

オ クレジットコールにはBGMや効果音をつけない。

カ 計時は本編の最初の音から、終わりのクレジットコールの「制作は〇〇高等学校(放送部・委員会)でした」の「せ」の音までとし、その計測値から3秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。

(5) 番組進行表様式 次のア～エにより作成する。

ア タイトルの文字は、JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ 表紙は様式2-1, 2ページは様式2-2「CUEシート」, 以下, 様式2-3「権利処理一覧表」, 様式2-4「音源使用許諾書」, 様式2-5「取材許諾・著作物等ご提供のお願い」とする。他の著作物を使用していないなど記載する内容がない場合は「なし」と記載して付す。

ウ 他の著作物を使用した場合は, JASRAC等の明細書, 権利フリー素材であることを示すレーベル面のコピー, その他使用したすべての著作物について, 使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

エ 番組進行表の大きさはA4縦判・左上1か所綴じとし, 1部作成する。

(6) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

(a) 指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか

(b) ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a) 制作の手法

(b) 取材の方法や努力

(c) 企画構成

(d) 演出・編集

(e) 技術

- ・録音の技術
- ・アナウンスやナレーションの技術
- ・音楽や効果音の使い方など

6. テレビキャンペーン部門

- (1) 内容 指定するキーワードを題材とした番組。
- ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。
- イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。
- ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認めない。
- エ 放送番組として不適切な内容を含まないこと。
- (2) キーワード 「ふく」
- (3) 規定時間 30秒以上1分以内
- (4) 制作様式 次のア～エにより制作する。提出後の内容の変更は認めない。
- ア ファイル形式はmp4(1080iまたは1080pのフルHD以下、29.97fpsまたは30fps)、ファイル名は、rc01.mp4(エントリー番号.mp4)のようにする。
- イ 音声の再生は、原則としてステレオ(L/R)で行う。
- ウ 本編の前後に5秒間ずつ、様式3のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。
- エ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの最初までとする。
- (5) 番組進行表様式 次のア～エにより作成する。
- ア タイトルの文字は、JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。
- イ 表紙は様式2-1、2ページは様式2-2「CUEシート」、以下、様式2-3「権利処理一覧表」、様式2-4「音源使用許諾書」、様式2-5「取材許諾・著作物等ご提供のお願い」とする。他の著作物を使用していないなど記載する内容がない場合は「なし」と記載して付す。
- ウ 他の著作物を使用した場合は、JASRAC等の明細書、権利フリー素材であることを示すレーベル面のコピー、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。
- エ 番組進行表の大きさはA4縦判・左上1か所綴じとし、1部作成する。

- (6) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

- ・指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a) 制作の手法
- (b) 取材の方法や努力
- (c) 企画構成
- (d) 演出・編集
- (e) 技術

- ・撮影や録音の技術
- ・アナウンスやナレーションの技術
- ・音楽や効果音の使い方など

7. 審査(全部門共通)

専門職審査員と教育職審査員の5名以上で行う。

8. 採点・講評(全部門共通)

- (1) 部門の「審査の視点」に基づき、100点法、1点刻みで総合的に採点する。
- (2) 採点のめやすは次のとおりとする。
- | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|------|-----|
| 20 | 30 | 40 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 |
| | | | | | 普通 | 良い | 大変良い | |
- (3) 各審査員は、得点一覧を、会場ごとに定める審査主査に提出する。
- (4) 各審査員は、すべての発表ごとに、講評を記載する。

9. 得点集計および順位(全部門共通)

- (1) 得点集計と順位
審査員の最低点を除いた合計点の高い順に順位を決定する。
- (2) 順位決定の特例
合計点が同じ場合は、カットされた得点の高い方を上位とする。
- (3) 審査会
最終的な順位決定は、部門ごとの審査主査と専門職審査員による審査会で行う。ただし、予選については、審査主査に一任する。

10. アナウンス部門・朗読部門決勝

- (1) 決勝進出者は決勝審査直前に中ホールで発表する。
- (2) 決勝のエントリー順は、無作為に指定する。
- (3) 決勝審査では、予選の得点を参考にしない。

11. 規定違反(全部門共通)

- (1) 規定違反は審査の対象としない。なお、重大な違反が判明した場合は、大会後においても賞を取り消すことがある。
- (2) 計時の許容範囲は、アナウンス部門と朗読部門は±2秒、番組4部門は±1秒とする。
- (3) アナウンス部門と朗読部門の決勝の規定時間違反に限り、失格とせず決勝進出のうちの最下位とする。

12. 講評・審査結果一覧(全部門共通)

- (1) 講評用紙は、各校に配付する。
- (2) メディア等は、該当校に返却する。
- (3) 審査結果一覧は、顧問に配付する。